資料１

第７次 嘉麻市教育アクションプラン

事業シート

第7次嘉麻市教育アクションプラン　事業シート

課名	生涯学習課	係名	文化推進係

事業の分類
継続事業

シート作成者氏名	藤原　千晶

1	主　要　施　策	4. 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進
2	施　策　内　容	4－3　図書館の利用促進
3	事　　業　　名	図書館施設管理運営事業

■事業の概要

4	**事業の必要性** （どのような市民ニーズや地域課題、社会的背景に対応する事業ですか。）	教育的・文化的環境の充実は、市民の学びや心豊かな生活を支える基盤であり、図書館は地域の「知の拠点」として重要な役割を担っています。このため、市民が安全で快適に利用できるよう、市内図書館を適切に管理運営する必要があります。 また、市民に自主的・自発的な読書活動の機会を提供し、子どもから高齢者まで幅広い世代の読書活動を支援することで、「知の循環」を生み出し、生涯学習社会の実現を推進することが求められます。
5	**事業の目的** （事業を実施する目的は何ですか。）	・市民の「知の拠点」である図書館を、安全で快適に利用できるよう、施設・設備の適切な維持管理と運営を行います。 ・市民の多様な学習ニーズに対応し、資料・情報の提供や図書館システム、移動図書館車の適切な運用により、利用しやすい読書環境の充実を図ります。 ・施設運営の実態を踏まえ、サービスの質を確保しつつ、施設の効果的・効率的な運用を検討し、持続可能な図書館運営を推進します。
6	**事業内容・細事業** （どのような手段・方法で事業に取り組みますか。）	・図書館施設及び図書館システムの適切な維持管理・運用を行います。 ・資料の選書・購入をはじめとする資料提供サービスを行います。 ・移動図書館車を運行し、地域や関係施設への資料提供を行います。 ・図書館を取り巻く環境や運営状況を踏まえ、嘉麻市立図書館基本計画の見直しに取り組みます。 ・図書館サービスの利便性向上に向け、電子図書館の整備に向けた検討を進めます。

■事業の目標（可能な限り数値目標を記入してください。）

7	目的達成にかかる指標	基準値	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	市民一人当たりの来館者数	1.57人	1.57人	1.57人	1.57人
	市民一人当たりの個人貸出冊数	3.14冊	3.14冊	3.14冊	3.14冊
	利用者満足度（施設・サービス）	74.0%	74.0%	75.0%	76.0%
	図書館基本計画の検討・策定	―	検討・策定	―	―

■事業の効果

8	**効果** （この事業を実施してどのような効果が期待できますか。）	・安全で快適な図書館環境を確保し、市民の読書活動や自主的な学びを支援することで、生涯学習の推進を図ります。 ・移動図書館車の運行により、来館が困難な子どもや高齢者等にも身近な場所で読書に親しむ機会を提供し、図書館サービスの利用機会を確保します。 ・指定管理者の専門的な知識やノウハウを生かし、利用者ニーズに対応した柔軟で質の高い図書館サービスの提供を図ります。 ・施設運営の実態を踏まえ、サービスの質を確保しながら効果的・効率的な施設運用の在り方について検討することで、持続可能な図書館運営につなげます。

■事業の予算（単位：千円）

予算科目：10款　7項　4目　／　予算事業名：　図書館運営事業

9	令和9年度（概算）	国庫	県費	地方債	その他	一般	令和10年度（概算）	令和11年度（概算）
	115,456				59,784	55,672	115,456	115,456

第7次嘉麻市教育アクションプラン　事業シート

課名	生涯学習課	係名	文化推進係

事業の分類
継続事業

シート作成者氏名	藤原　千晶

1	主　要　施　策	4. 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進
2	施　策　内　容	4－3　図書館の利用促進
3	事　　業　　名	読書活動推進事業

■事業の概要

4	**事業の必要性** （どのような市民ニーズや地域課題、社会的背景に対応する事業ですか。）	・嘉麻市子ども読書活動推進計画に基づき、家庭、地域、学校及び行政が図書館と連携し、子どもの発達段階に応じた読書活動を推進することが必要です。 ・あらゆる世代の市民の読書習慣の定着を図るため、新たな取組を取り入れながら読書活動を推進し、生涯学習社会の実現を目指すことが必要です。 ・市民の読書活動を充実させ、図書館を身近な施設とするため、地域の図書ボランティアとの協働を推進することが必要です。
5	**事業の目的** （事業を実施する目的は何ですか。）	・子どもの発達段階に応じた読書環境を充実するとともに、学校図書館等との連携を推進し、子どもの読書習慣の定着を図ります。 ・多様な読書活動を通じて市民の読書意欲を高め、自主的・自発的な学びを支援することで、生涯学習社会の実現を目指します。
6	**事業内容・細事業** （どのような手段・方法で事業に取り組みますか。）	・乳幼児・児童を対象に、おはなし会、ブックスタート、夏休み講座等を実施し、読書に親しむ機会を提供します。 ・学校等と連携し、ブックトーク等を通じて子どもの読書活動を支援します。 ・一般市民を対象に、読書講演会や古本譲渡会等を実施し、読書活動の推進を図ります。 ・読書バリアフリーに関する取組や特集展示、ボランティア活動の育成・支援等を行い、多様な読書活動を支える環境づくりに取り組みます。

■事業の目標（可能な限り数値目標を記入してください。）

7	目的達成にかかる指標	基準値	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	定例おはなし会1回当たりの平均参加者数	5.5人	5.5人	5.5人	5.5人
	読書講演会参加率（参加者数÷定員数）	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
	図書館ボランティア活動者数（延べ人数）	166人	166人	166人	166人

■事業の効果

8	**効果** （この事業を実施してどのような効果が期待できますか。）	・幅広い世代に読書に親しむ機会を提供し、読書習慣を育むことで、文化的で潤いのある市民生活につなげます。 ・子どもの読書活動を支援し、感性や表現力、想像力、自ら考える力を養い、生きる力を育みます。 ・学校や関係団体等との連携により、読書への理解と関心を高め、幅広い市民に読書機会の拡大を図ります。 ・読書バリアフリーを推進し、誰もが読書に親しめる環境の充実を図るとともに、ボランティアの育成・支援を通じて、市民との協働による読書活動を推進します。

■事業の予算（単位：千円）

予算科目：10款　7項　4目　／　予算事業名：　図書館運営事業

9	令和9年度（概算）	国庫	県費	地方債	その他	一般	令和10年度（概算）	令和11年度（概算）
	115,456				59,784	55,672	115,456	115,456